

シニア隊

発団10周年にあたって
シニア隊隊長 横田 紀男



茎崎第一団が発団した時はまだシニア隊がありませんでした。そして、ほとんどが発団当時カブスカウトだった人達により平成元年にシニア隊が発足しました。発隊以来シニア隊らしい活動を目指してスカウト自身による計画実行を基本に試行錯誤を繰り返し、志賀高原での雪中キャンプや一泊野営サイクリング、シンガポール研修旅行などを実施しました。

これからも魅力あるシニア隊にするためスカウトと共に努力したいと考えています。

■進級記章類



グリーンシニア
バッジ



シニア一章



隼スカウト章



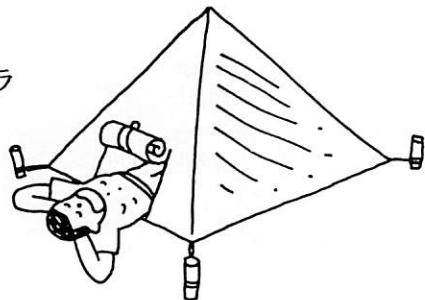
富士スカウト章・略章

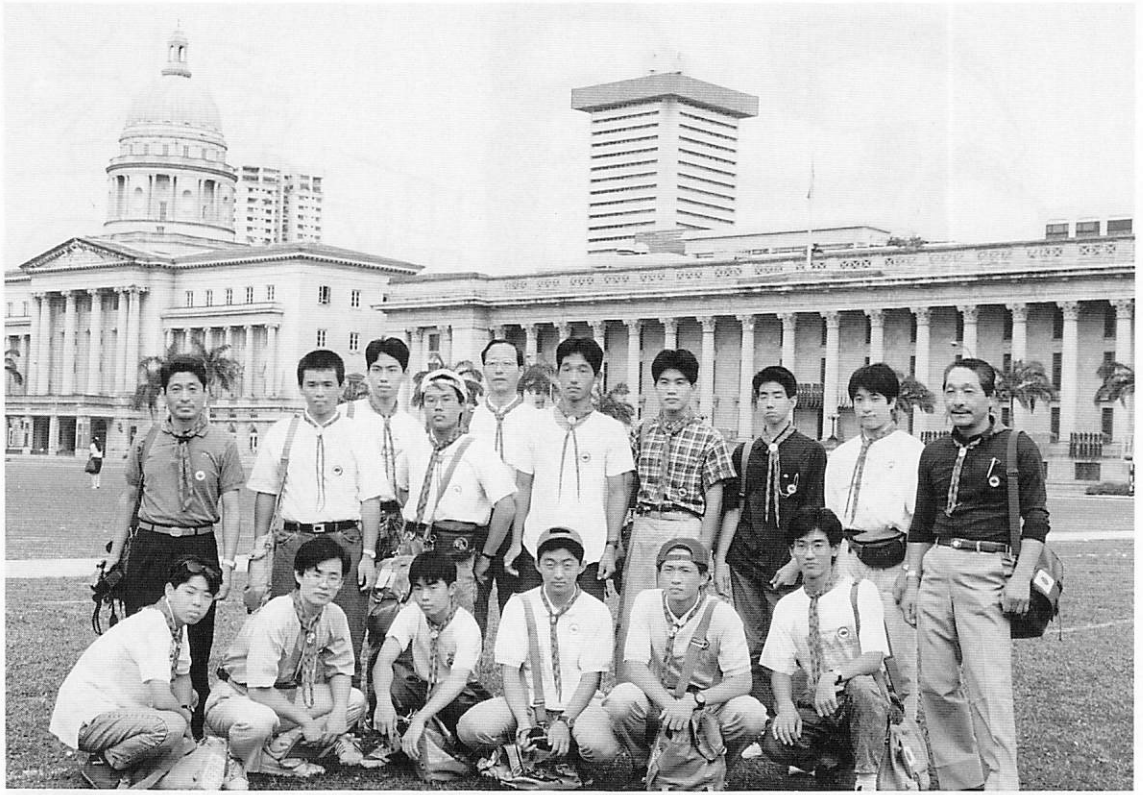


◇ テーマ 「少数精鋭」

- H・4・9 オーバーナイト・入隊式
- 10 ワープロ教室・町民運動会奉仕
- 11 文化祭・五地区カブラリー参加
スカウト祭準備
- 12 海外旅行計画開始・スカウト祭

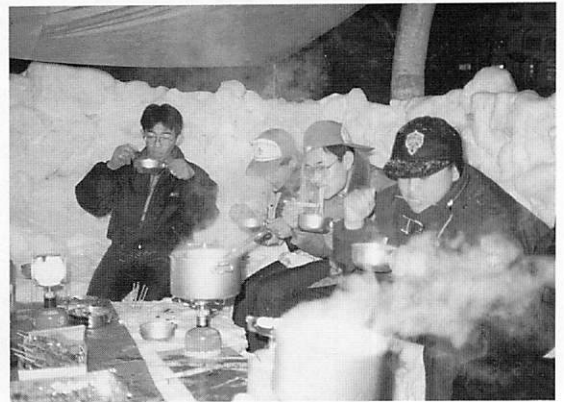
- H・5・1 新春ボーリング大会
- 2 アマチュア無線試験
雪中キャンプ計画
- 3 山菜採りと温泉の旅行計画
スキー訓練（雪中キャンプ）
- 4 海外研修旅行個人活動プログラ
ム計画・テニス教室
- 5 健康・山菜採りと温泉の旅
- 6 アマチュア無線交信訓練
水泳ボート訓練計画
- 7 水泳ボート訓練
- 8 海外研修旅行・キャンポリー





シンガポールの旅

平成3年8月22日



シニアスカウト としての 抱負

松永 茂樹

シニアスカウトになって約一年ぐらい経つが、シニア隊に入ってから自分の活動状況を振り返ると参加日数が少なかった。計画の段階などの平日の夜の時は来れたが、特に実施の段階の休日の時などは、部活動で忙しく来れない場合が多かった。

これからの活動も多分、今迄ようになってしまおうと思う。その中で取り組みたい活動と将来の抱負を述べると、一番力を入れたい活動は、今年の夏の海外研修です。他にもいろいろ取り組みたいことはあるが、このプロジェクトの成功を目標にしたい。このプロジェクトは、今回が初めての試みなので、計画の段階から慎重に取り組み、楽しい研修にしたい。そして外国の文化や習慣など、いろいろな知識を知って、もっと世界的な視野を広げてみたいと思う。

次に、将来の抱負というか、これからの日常生活において、注意したい点は、けじめをつけることです。このことは、今迄やってこなかったわけでもないが、特に注意していたわけでもない。だが、これからは、自分の生活においても、行動においても、精神的な面においても、けじめをつけることを守っていききたい。

H. 3. 3. 31

夏期特別訓練

90年 水沼ダム



90年 浮島



92年 里見牧場



☆☆☆☆☆☆☆☆
ローバー班
☆☆☆☆☆☆☆☆



10周年に想う

ローバー班隊長 松元 優

足跡、皆で苦勞して敷いたレールを順風満帆で今なを進んでいる。

昭和58年3月28日(日)雨、33名のカブスカウトの発隊、多くのスカウトが巣立ちました。地域に愛されながら今日迄発達してきた陰には、歴代の多くの指導者の方々の大変な御苦勞と責任ある熱情、それにもまして我が子を思う御父兄の絶大な御協力があつたからだと思ひます。

スカウトと通つてきた道を振り返つてみますと、楽しかつたこと、嬉しかつたことが走馬灯のように思い出されます。

私の心の支えのスカウト達よ、ありがとう！今度は君達の番だ。立派な指導者、社会人となり、後輩を指導するよう心から祈つています。

20周年に向けて、荃崎一団偉大なる足跡を残す様、スカウト、リーダー、父兄一体となつて前進しよう。

H・5・3 スキー訓練(奉仕)

お別れ会ディナー

6 第1回県ローバー連絡会議

◇ テーマ 「自己の再発見」

海外研修の集合写真

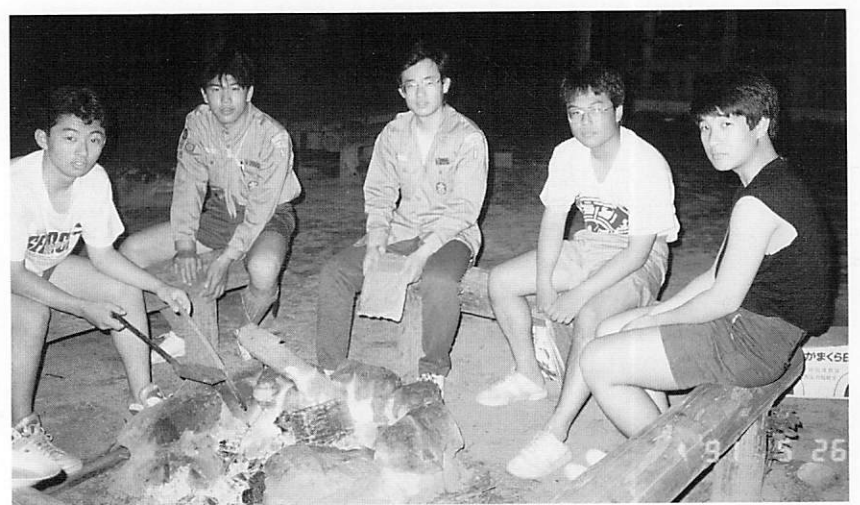


海外研修
シンガポールの
ボーイスカウトとの
交歓会



ローバー・シニア
アーチェリー研修

ローバー・シニア
ナイトミーティング



編集後記

さわやかなみどりの季節に、発団10周年記念誌「あゆみ」が完成致しました。

お忙しい中を快く御協力下さいました方々に心から御礼申し上げます。

編集委員6名、忙しさの中でも充実した時を過させていただきました。

10年間のすばらしい活動をふまえ、これからもスカウトと共に成長していきたいと思ひます。

編集委員

松本 安蔵

福田 都

本田 麗子

四宮 徳三

桜井 恵子

金光 ひとみ

平成5年6月20日発行
ボーイスカウト荃崎第一団